



# 風呂場の神

---

---

シロガネユキ

---

# 風呂場の神

---

「風呂場の神」 シロガネユキ

いつものように体を洗って、シャンプーをして、さあ、お風呂に入ろう……と思い、浴槽に手を掛けたら、お湯の中で何かがキラリと光った。

「むむ？ 誰か風呂の中にさい銭でも入れたのかな？」

そう思って浴槽の中を覗き込むと、お湯の中から一匹の魚が飛び出してきた。魚は私の目の前でクルリと宙返りをするると再びお湯の中深く潜って行ってしまった。

「うわあ～サカナ見っけ～！」

私は近くにあった釣竿を手に取り、その辺に落ちていた虫をくっつけて糸を垂らす。

チッチッチ……。時間だけが刻々と過ぎてゆく。釣りは待ちが大切なものなんて思いながら、ひたすら待ち続ける私。

するとお湯の中からゴボゴボと大きな音がして、不思議な老人が現れた！

老人は左手に金色のサカナ、右手に普通のサカナを持っている。

「そなたが釣ろうとしているのは、この金のサカナかな？ それとも……」

「うぎゃ～！！ ふざけるな！ このスケベジジい～！」

バキ！ ドカ！ ドス！ グチャ！

神は死んだ……（ニーチェ！？）

了